

平成27年度 研究推進計画

(警固屋) 中学校区 校番(8) (警固屋中) 学校

校長名 坂口 守

1 研究主題、研究内容・方法等について

① 研究主題

豊かなことばを基盤とした確かな学力の育成
～ 「思考ツールを用いた授業」の創造 ～

② 主題設定の理由

学習指導要領にも示されているように、思考力・判断力・表現力等を育む観点から、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図ることが求められている。

これまでの本学園の児童生徒は、自分を表現する際、表現することばが単語のみで、文末まできちんと表現できないことや、筋道を立てたことばにならないことが課題として多く見られた。その結果、授業や各種調査においても問題文の意味がわからず解答できないことも多々あった。

そこで平成26年度は、研究主題を「豊かなことばを基盤とした確かな学力の育成」とし、各教科・領域等において、豊かな言葉を基盤とした言語活動の充実を図ることを通して確かな学力（自分を表現する力）を育成することに取り組んできた。具体的には、「自分の考えを表現する場」の設定を工夫し、個人で思考したことをペアや集団で吟味し、当初個人で思考した内容を深めようとした。その結果、思考力に係る生徒質問紙の肯定的評価は、3項目とも取組前に比べ数値は上昇しているが伸び率は10ポイント程度に留まった。こうした結果となった教師側の要因として、考えさせる場面に至るまで時間がかかること、考えさせた内容を見取る評価基準が曖昧になっていること、思考する材料と結果のつながりを可視化できなかったことなどが考えられる。

これらのことを踏まえると、思考を見取る評価基準を明確にし、そこに至る材料を精選し、思考の焦点化・見える化・操作化により、個人の思考を深めていくことが必要であると考ええる。

そのため今年度は「思考ツールを用いた授業」の創造により、確かな学力の育成を図っていく。

※「思考ツール」とは、関西大学初等部において用いられている思考力育成法によるものである。

③ 研究仮説

「思考ツールを用いた授業」を創造していけば、考えるための切り口が明確になり、確かな学力を育成することができるであろう。

④ 研究内容と検証の指標・達成目標

<研究内容>	<検証の指標>	<達成目標>
<p>「思考ツールを用いた授業」の創造により変容した児童・生徒の姿をみとる。</p> <p>1 思考する場の設定は有効か。</p> <p>2 思考が深まったか。</p>	<p>○質問紙 (児童・生徒用) 「授業において、自分の考えを持ち、表現できている。」</p> <p>○授業評価アンケート (教職員用) 「授業において、『思考する場』の設定は有効であったか。」</p> <p>○各種調査における無解答率</p> <p>○質問紙 (児童・生徒用) 「ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えている。」 「自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いている。」</p> <p>○授業評価アンケート (教職員用) 「本時の展開を通して、児童・生徒の思考は深まったか。」</p> <p>○まとめ・振り返り記述</p>	<p>○肯定的評価80%以上</p> <p>○肯定的評価70%以上</p> <p>○無解答率0%</p> <p>○肯定的評価75%以上</p> <p>○肯定的評価70%以上</p> <p>○B評価以上70%以上</p>

2 検証計画

質問紙（児童・生徒用）	4月・（6月）・7月・12月・2月
授業評価アンケート（教職員用）	各研究授業にて
各種調査（全国・基礎基本）	4月・6月・2月
無解答率，まとめ・振り返り	各授業にて

3 研修計画

	【研修内容】	【担当】
理論の共有	4月2日（木） 第1回学園研修会「今年度の研究の方向性と教育目標の共有化」	研究推進小委員会
	5月11日（月） 第2回学園研修会「検証計画について」「配慮を要する児童・生徒にかかわって」	研究推進小委員会 生徒指導小委員会
	6月1日（月） 第3回学園研修会「サテライト研修：総合的な学習の時間オーダーメイド！単元計画リニューアル講座」	研究推進小委員会 （センターより指導主事招聘）
	6月19日（金） 第4回学園研修会「授業研：思考ツールを用いた授業の提案」	研究推進小委員会
実践研究	7月31日（金） 第5回学園研修会「総合的な学習の時間について」	教育課程小委員会
	8月4日（火） 第6回学園研修会「児童・生徒理解を深めるためにⅡ～スクールカウンセラーによる研修～」 「学力調査の課題分析」	生徒指導小委員会 研究推進小委員会
	9月18日（金） 第7回学園研修会「学園研究授業と全体協議」	研究推進小委員会
	10月29日（木） 第8回学園研修会「学園研究授業と全体協議」	研究推進小委員会
	12月9日（水） 第9回学園研修会「自立ノートの活用」	生徒指導小委員会
来年度課題設定	1月18日（月） 第10回学園研修会「本年度の成果と課題」	研究推進小委員会
	2月29日（月） 第11回学園研修会「学力向上マップからみる学習面の課題」	研究推進小委員会
	3月7日（月） 第12回学園研修会「次年度に向けて」	研究推進小委員会

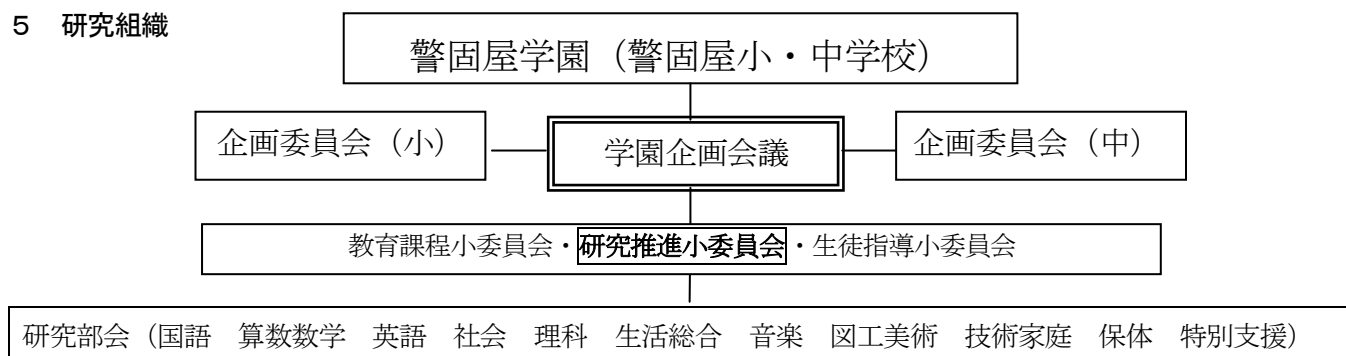
*学園研修会の他に、毎月1回程度、各小学校、中学校で校内研修会（服務規律、生徒指導、法規、特別支援、学習評価、研修報告、公金等、学籍管理など）を実施する。

*授業力向上を図るため、一人1回研究授業を行う。（できる限り指導主事を招聘する。また、授業後に協議会を行う。）

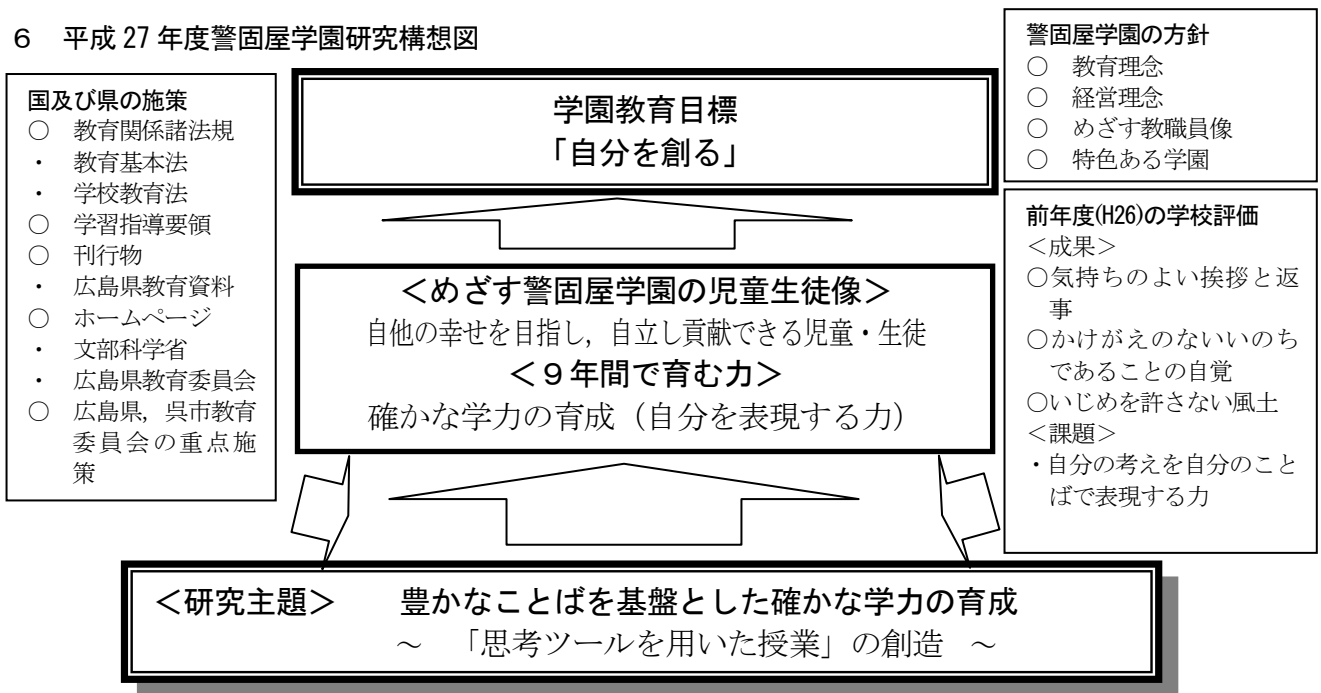
4 研究公開の予定について

	平成27年9月12日（土）
タイプ	報告型
公開範囲	地域（保護者、学校評議員、地域住民等）
公開内容	小中一貫教育

5 研究組織



6 平成 27 年度警固屋学園研究構想図



＜仮説＞ 「思考ツールを用いた授業」を創造していけば、考えるための切り口が明確になり、確かな学力を育成することができるであろう。

＜今年度の研究内容＞

「思考ツールを用いた授業」の創造により変容した児童・生徒の姿をみとる。

- 思考する場の設定は有効か。
- 思考が深まったか。

※別紙「警固屋学園学びの姿」により授業を展開する。

